

理事会とASOを中心とした報告

第73回ICANN報告会 2025年 7月31日

日本ネットワークインフォメーションセンター
政策主幹 前村 昌紀



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

▶▶▶ 目次

最近の理事会決議

印象に残ったトピック・セッション

ASOによるICP-2改定とワーキングセッション

公開書簡：ICANN CEOからAFRINIC管財人に対する

In Memoriam: Nigel Hickson

Community Cocktail



最近の理事会決議



▶▶▶ 2025年5月3日会合（理事会ワークショップ対面）
<https://www.nic.ad.jp/ja/icann/topics/2025/20250520-01.html>

1. ICANNのIT能力強化のための外部委託企業との契約
2. 理事会会合議事録の承認
3. ICANN 2026-2030会計年度運営・財務計画、
ICANN 2026会計年度運営計画および予算、IANA
2026会計年度運営計画および予算の承認
4. ICANNレビュー・プログラムの道筋
（本件に関する決議なし）
5. 新gTLDプログラム次回ラウンドに向けた資金手当て

▶▶▶ 2025年5月19日会合（Web会議）

<https://www.nic.ad.jp/ja/icann/topics/2025/20250707-01.html>

1. ICANNレビュー・プログラムの道筋

決定事項：

Continuous Improvement Program：継続

Pilot Holistic Review：終了

ATRT4、SSR、RDS、組織レビューも一旦延期

▶▶▶ 2025年5月19日会合（Web会議）

<https://www.nic.ad.jp/ja/icann/topics/2025/20250707-01.html>

1. ICANNレビュー・プログラムの道筋

決定事項：

Continuous Improvement Program：継続

Pilot Holistic Review：終了

ATRT4、SSR、RDS、組織レビューも一旦延期

- この理事会決議には、Empowered CommunityのDecisional Participant (DP) であるAt-Large諮問委員会からコミュニティ再検討請願(Community Reconsideration Petition)が即日発せられた
 - <https://www.icann.org/en/system/files/correspondence/alac-to-eca-19jun25-en.pdf>
- 21日の間に他の1つ以上のDPの賛同があれば再検討プロセスに進むが、賛同は得られなかった

▶▶▶ 2025年6月8日会合（理事会ワークショップ対面）

<https://www.nic.ad.jp/ja/icann/topics/2025/20250707-02.html>

1. ICANN86（2026年6月開催）会場契約（開催地未公開）
2. ICANN89（2027年6月開催）会場契約（開催地未公開）
3. 新gTLDプログラム次回ラウンドに向けた契約および支出の承認（第1バッチ）
4. IANA機能運用者の決定に対するレビュー機構に関するccNSO提案ポリシーの検討
5. 2026会計年度の事務総長兼CEO目標および組織目標の承認

▶▶▶ 2025年6月27日会合（Web会議）

<https://www.nic.ad.jp/ja/icann/topics/2025/20250707-03.html>

1. ICANN84（2025年10月開催）会場契約
オマーン・マスカットからアイルランド・ダブリンに変更



印象に残ったトピック・セッション





ASOではICP-2改定作業

<https://www.nro.net/policy/internet-coordination-policy-2/process-for-the-review-of-icp-2-and-timeline/>

「RIRの認定要件」として2001年に成立。LACNICとAFRINICの設立の根拠となっている
20年以上が過ぎ、素朴ともいえる文書の大改訂を実施中。

2024/10 – 2024/12	「原則案」の意見聴取
2025/04 – 2025/05	改定案の意見聴取
2025/06 – 2025/08	改定第二案の検討中
2025/09 – 2025/10?	改定第二案の意見聴取予定



ASO Address Council Working Session (1/6 – 6/6)





ICANNがAFRINIC管財人に猛烈な抗議

<https://www.icann.org/sites/default/files/documents/lindqvist-to-ramtohul-dabee-16jul25-en.pdf>

2025/07/16 ICP-2により設立を認めた**立場での公開書簡**

和訳：<https://www.nic.ad.jp/ja/icann/topics/2025/20250725-01.html>

数点の懸念に対する対応を 管財人に要請

選挙期間の不正な委任状要請
に関する情報公開

過去の情報開示依頼に対する
回答

会員組織における「事業継承」
に関する懸念

再選挙に向けた公正な方法を
数点示唆



16 July 2025

The Honorable Avinash Ramtohul, Minister of Information Technology, Communication and Innovation, Republic of Mauritius

African Network Information Center (AFRINIC)
% Mr. Gowtamsingh Dabee, FCCA ADIT MBA, Appointed Receiver

Re: ICANN's Open Letter to the Mauritius Minister of Information Technology, Communication and Innovation and the Court-Appointed Receiver over AFRINIC, Mr. Gowtamsingh Dabee

Dear Your Excellency and Mr. Dabee,

ICANN writes in its capacity as the nonprofit organization charged with ensuring the stable and secure operation of the Internet's unique identifier systems, and in this regard, coordinates the allocation and assignment at the top-most level of Internet Protocol numbers and Autonomous System numbers. In this role, ICANN is responsible for recognizing the Regional Internet Registries (RIRs), including AFRINIC, which ICANN recognized on 8 April 2005 as the RIR for the region of Africa and the Indian Ocean.

ICANN is also responsible for confirming that RIRs maintain compliance with the obligations within ICP:2: Criteria for Establishment of New Regional Registries. AFRINIC's compliance requirements are set forward in the Implementation and Assessment Procedures for ICP-2 Compliance document.¹



ICANNがAFRINIC管財人に猛烈な抗議 (抜粋 1/3)

<https://www.icann.org/sites/default/files/documents/lindqvist-to-ramtohul-dabee-16jul25-en.pdf>

ICANNは、インターネットの一意的識別子のシステムの安定的かつ安全な運用を担う非営利組織として、本書簡をお送りします。ICANNは、インターネットプロトコル番号および自律システム番号の最上位層における割当・割振の調整を行っており、アフリカおよびインド洋地域を担当する地域インターネットレジストリ(RIR)として、2005年4月8日付でAFRINICを正式に認定しました。

また、ICANNは、RIRがICP-2「新地域レジストリ設立のための基準」に適合していることを確認する責任も有しています。AFRINICが遵守すべき事項は、ICP-2適合のための実施・評価手順(Implementation and Assessment Procedures for ICP-2 Compliance)に定められています。

ICANNはAFRINICの認定機関として、かつグローバルインターネットコミュニティから付託された公式の立場として、本件に関与しています。かつてICANNは、当時任命されていた管財人ヴィラサミ氏の要請に応じ、中立的・独立的な支援を申し出ました。そして、現管財人ダビー氏に対しても、同様の支援を申し出てきました。また、ICANNの役割についての説明も継続して行っています。

ICANNは、2025年6月25日および7月3日付で、AFRINICの管財人であるダビー氏宛に、最近の選挙実施に関する質問への完全な回答を要請する書簡を送りました(本書簡に添付)。ダビー氏は、6月25日付の書簡に対し、各質問への回答を列記した返信を寄せましたが、内容は乏しく、「選挙は無効とされたので、詳細は不要」との主張にとどまっていた。7月3日付の書簡に対しては、簡潔な受領確認があったものの、求めた情報の詳細は提供されていません。

ダビー氏の要望により、ICANNは氏からの返信書簡を公開しておりません。ICANNは7月8日までにすべての質問への完全な回答を求めていましたが、それ以降、追加の情報提供は受けていません。

ICANNがAFRINIC管財人に猛烈な抗議（抜粋 2/3）

<https://www.icann.org/sites/default/files/documents/lindqvist-to-ramtohul-dabee-16jul25-en.pdf>

ICANNは、AFRINICがRIRとして公共の信託を担っていることを改めて指摘します。割り当てられた番号資源は、グローバルなインターネットコミュニティおよびAFRINICが奉仕する地域のためのものであり、AFRINICの資産ではありません。むしろ、RIRの価値は、その地域で策定されたポリシーに従ってこれらの資源を配分する能力にあります。この配分機能は、特定の債権者、会員、または会員グループの利益のために使われてはならないと、2025年5月16日の電話会談でもダビー氏は理解を示しました。

ICANNの第一義的目標は、AFRINICがICP-2に準拠した、適切なガバナンスのもとで運営されるRIRであり続けることです。ICP-2準拠には多様な要素があることは、以前の書簡でも言及してきました。

会員の支持を得ること、会員を公平に扱うことに関して、AFRINICは、特定会員の影響力の偏重、情報への不平等なアクセスなどに関する指摘に、意味のある対応を示していません。ICANNは改めて強調します。選挙が無効とされた事実は、それに至った経緯を公的に評価し、新たな選挙で同様の問題が繰り返されないようにする必要性を無効にするものではありません。選挙の無効化に至った要因や、候補指名・選挙プロセスにおける問題点とその教訓について、AFRINICが説明責任を果たしていない現状は、極めて問題です。

また、2025年6月26日にダビー氏が「確認中」と述べたAFRINICの記録およびバックアップの状況についても、2週間以上たっても新たな情報は提供されていません。

ICANNは、2025年7月9日付の「第三者からの通信に関する助言」も注視しました。特に、AFRINIC会員から広範な委任状（PoA）を取得しようとする動きについて、会員自身の意思決定権が移譲される可能性があることを、管財人である管財人が警告するのは当然のことです。ICANNもこの注意喚起に賛同します。

ICANNがAFRINIC管財人に猛烈な抗議（抜粋 3/3）

<https://www.icann.org/sites/default/files/documents/lindqvist-to-ramtohul-dabee-16jul25-en.pdf>

また、ICANNがCloud Innovation Ltd（Cloud）のCEOにより資金提供されているメディア報道を歪めたとする主張は、根拠を欠いています。公平性を装いつつ、わずか2週間で50以上の記事を掲載し、NRS（Number Resource Society）を通じた選挙活動を促すようなメディアに対しては、慎重に見る必要があります。

CloudのCEOとNRSの関係は明白であり、NRSはIPアドレスブロックを資産として扱うよう主張してきましたが、これはAFRINICの正式ポリシーに反します。AFRINICが担うのは、アフリカ・インド洋地域で実際にネットワークを構築し、サービス提供する事業者への応需の資源割り当てです。ICANNは、現在のガバナンス危機を利用してAFRINICを私的に支配しようとする動きに強い懸念を抱いています。

さらに、Cloudが2025年7月11日付でAFRINICの解散をモーリシャスの裁判所に単独で申請したことも、ICANNは確認しています。ダビー氏は7月14日付のコミュニケでこれを認めています。Cloudはこの動きを「アフリカのインターネットコミュニティの利益のため」と称していますが、2000を超える他の会員の皆様には、自らの代表者として誰が適任か、今一度見極めていただきたいとICANNは呼びかけます。ダビー氏に対しては、申立ての内容を含む追加コミュニケの速やかな発出を強く要請します。

Cloudは、AFRINICの解散申請がICANNの意向に沿ったものだとして主張していますが、これは完全な誤りです。ICANNが一貫して求めてきたのは、すべての資格のある会員が自らの意思で公平に参加できる自由で公正な選挙であり、それがAFRINICの正統な理事会を選出する最良の道であるという点です。

2025/07/18

モーリシャス政府の即応

<https://www.afrinic.net/extraordinary-government-gazette>

現在の「管財人による選挙プロセスにおける不正」「経営破綻という一企業からの主張」という流れに向けた政府の対応

AFRINICを会社法に定める

「Declared Company」（保護的介入するべき公益的な会社）と宣誓して、検査官を指名する



THE GOVERNMENT GAZETTE
OF MAURITIUS

EXTRAORDINARY

Published by Authority

No. 59 — Port Louis : Friday 18 July 2025 — Rs. 25.00

TABLE OF CONTENTS

GENERAL NOTICES

- 1045 — Declared Company – Notice under section 230 of the Companies Act
1046 — Election of four (4) Members to the Executive Council of the Bhojpuri Speaking Union and two (2) Members to the Executive Council of the Telugu Speaking Union

General Notice No. 1045 of 2025

DECLARED COMPANY

NOTICE UNDER SECTION 230 OF THE COMPANIES ACT

WHEREAS African Network Information Centre (Afrinic) Ltd (in receivership) (the “Company”) is a company limited by guarantee incorporated and based in Mauritius;

WHEREAS the Company is the designated Regional Internet Registry for the African continent;

WHEREAS I am reliably informed that the Company has been the object of a spate of litigation, leading to it being placed in receivership in or about 2024;



In Memoriam: Nigel Hickson

<https://icann83.sched.com/event/246Wo/in-memorial-nigel-hickson>

ICANN政府機関エンゲージメント(GE)チーム、GAC英国代表などとして長くICANN会議やIGFで活発に活動していた Nigel Hickson氏が、ICANN82シアトル会議直後に急逝。故人を偲ぶセッションが開催された





Community Cocktail

<https://icann83.sched.com/event/246Wo/in-memorial-nigel-hickson>





ありがとうございました

理事会とASOを中心とした報告

第73回ICANN報告会 2025/07/31

日本ネットワークインフォメーションセンター
政策主幹 前村 昌紀